設　置　計　画　の　概　要

				事前伺い
	大学の名称	旭川医科大学	計画の区分	研究科の専攻設置

新設学部等の状況
（学年進行終了時における状況）

学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
医学系研究科（博士課程）	医学専攻	15		60	博士（医学）	医学関係	平成19年度	細胞・器官系専攻	27	11
								生体情報調節系専攻	56	21
								生体防御機構系専攻	7	3
								人間生態系専攻	3	1

既設学部等の状況
（現在の状況）

学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
医学系研究科（博士課程）	細胞・器官系専攻（廃止）	9		36	博士（医学）	医学関係	昭和54年度	医学専攻	27	11
	生体情報調節系専攻（廃止）	14		56	博士（医学）	医学関係	昭和54年度	医学専攻	56	21
	生体防御機構系専攻（廃止）	5		20	博士（医学）	医学関係	昭和54年度	医学専攻	7	3
	人間生態系専攻（廃止）	2		8	博士（医学）	医学関係	昭和54年度	医学専攻	3	1

【備考欄】

教　育　課　程　等　の　概　要

（大学院医学系研究科医学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習	専任教員等配置 教授	専任教員等配置 准教授	専任教員等配置 講師	専任教員等配置 助教	専任教員等配置 助手	備考
共通科目	共通基盤医学特論	1·2·3·4	2			○			36	29	28			全教員が担当
	共通先端医学特論	1～2	6			○								
	共通医学論文特論	2・3	2			○								
	（研究者コース共通） 基礎医学基盤演習	1・2・3	2				○							
	（臨床研究者コース共通） 臨床医学基盤演習（臨床疫学・生物統計等）	1・2・3	2				○							
	小計（5科目）	—	12			—			36	29	28			
専門科目（研究者コース）	腫瘍・血液病態学特論	1・2		2		○			4	3	6			
	臨床腫瘍・血液学特論	1・2		2		○								
	腫瘍・血液病態学特論演習	1・2・3		2			○							
	腫瘍・血液病態学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○						
	腫瘍・血液病態学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	腫瘍・血液病態学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	腫瘍・血液病態学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	社会・環境医学特論	1・2		2		○			2	2	2			
	臨床環境・社会医学特論	1・2		2		○								
	社会・環境医学特論演習	1・2・3		2			○							
	社会・環境医学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○						
	社会・環境医学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	社会・環境医学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	社会・環境医学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	免疫・感染症病態学特論	1・2		2		○			5	3	3			
	臨床免疫・感染症学特論	1・2		2		○								
	免疫・感染症病態学特論演習	1・2・3		2			○							
	免疫・感染症病態学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○						
	免疫・感染症病態学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	免疫・感染症病態学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	免疫・感染症病態学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	感覚器・運動器病態学特論	1・2		2		○			4	3	3			
	臨床感覚器・運動器学特論	1・2		2		○								
	感覚器・運動器病態学特論演習	1・2・3		2			○							
	感覚器・運動器病態学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○						
	感覚器・運動器病態学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	感覚器・運動器病態学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	感覚器・運動器病態学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	内分泌・代謝病態学特論	1・2		2		○			3	2	2			
	臨床内分泌・代謝学特論	1・2		2		○								
	内分泌・代謝病態学特論演習	1・2・3		2			○							
	内分泌・代謝病態学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○						
	内分泌・代謝病態学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	内分泌・代謝病態学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	内分泌・代謝病態学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	神経・精神医学特論	1・2		2		○			5	4	2			
	臨床神経・精神医学特論	1・2		2		○								
	神経・精神医学特論演習	1・2・3		2			○							
	神経・精神医学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○						
	神経・精神医学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	神経・精神医学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	神経・精神医学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	循環器・呼吸器病態学特論	1・2		2		○			4	5	4			
	臨床循環器・呼吸器学特論	1・2		2		○								
	循環器・呼吸器病態学特論演習	1・2・3		2			○							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習	専任教員等配置 教授	専任教員等配置 准教授	専任教員等配置 講師	専任教員等配置 助教	専任教員等配置 助手	備考
	循環器・呼吸器病態学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○						
	循環器・呼吸器病態学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	循環器・呼吸器病態学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	循環器・呼吸器病態学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	消化器病態学特論	1・2		2		○								
	臨床消化器学特論	1・2		2		○								
	消化器病態学特論演習	1・2・3		2			○							
	消化器病態学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	2	1	2			
	消化器病態学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	消化器病態学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	消化器病態学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	分子生理・薬理学特論	1・2		2		○								
	臨床薬理・分子生理学特論	1・2		2		○								
	分子生理・薬理学特論演習	1・2・3		2			○							
	分子生理・薬理学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	5	4	1			
	分子生理・薬理学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	分子生理・薬理学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	分子生理・薬理学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	生殖・発達・再生医学特論	1・2		2		○								
	臨床生殖・発達・再生医学特論	1・2		2		○								
	生殖・発達・再生医学特論演習	1・2・3		2			○							
	生殖・発達・再生医学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	2	2	3			
	生殖・発達・再生医学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	生殖・発達・再生医学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	生殖・発達・再生医学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	小計（70科目）	—		20			—		36	29	28			
専門科目（臨床研究者コース）	臨床腫瘍・血液学特論	1・2		2		○								
	腫瘍・血液病態学特論	1・2		2		○								
	臨床腫瘍・血液学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							
	臨床腫瘍・血液学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	4	3	6			
	臨床腫瘍・血液学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床腫瘍・血液学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床腫瘍・血液学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床環境・社会医学特論	1・2		2		○								
	社会・環境医学特論	1・2		2		○								
	臨床環境・社会医学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							
	臨床環境・社会医学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	2	2	2			
	臨床環境・社会医学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床環境・社会医学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床環境・社会医学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床免疫・感染症学特論	1・2		2		○								
	免疫・感染症病態学特論	1・2		2		○								
	臨床免疫・感染症学臨床研究・臨床試験演習	1・2・3		6			○							
	臨床免疫・感染症学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	5	3	3			
	臨床免疫・感染症学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床免疫・感染症学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床免疫・感染症学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床感覚器・運動器学特論	1・2		2		○								
	感覚器・運動器病態学特論	1・2		2		○								
	臨床感覚器・運動器学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							
	臨床感覚器・運動器学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	4	3	3			
	臨床感覚器・運動器学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床感覚器・運動器学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床感覚器・運動器学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床内分泌・代謝学特論	1・2		2		○								
	内分泌・代謝病態学特論	1・2		2		○			3	2	2			
	臨床内分泌・代謝学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習	専任教員等配置 教授	専任教員等配置 准教授	専任教員等配置 講師	専任教員等配置 助教	専任教員等配置 助手	備考
	臨床内分泌・代謝学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○						
	臨床内分泌・代謝学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床内分泌・代謝学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床内分泌・代謝学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床神経・精神医学特論	1・2		2		○								
	神経・精神医学特論	1・2		2		○								
	臨床神経・精神医学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							
	臨床神経・精神医学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	5	4	2			
	臨床神経・精神医学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床神経・精神医学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床神経・精神医学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床循環器・呼吸器学特論	1・2		2		○								
	循環器・呼吸器病態学特論	1・2		2		○								
	臨床循環器・呼吸器学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							
	臨床循環器・呼吸器学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	4	5	4			
	臨床循環器・呼吸器学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床循環器・呼吸器学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床循環器・呼吸器学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床消化器学特論	1・2		2		○								
	消化器病態学特論	1・2		2		○								
	臨床消化器学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							
	臨床消化器学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	2	1	2			
	臨床消化器学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床消化器学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床消化器学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床薬理・分子生理学特論	1・2		2		○								
	分子生理・薬理学特論	1・2		2		○								
	臨床薬理・分子生理学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							
	臨床薬理・分子生理学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	5	4	1			
	臨床薬理・分子生理学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床薬理・分子生理学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床薬理・分子生理学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	臨床生殖・発達・再生医学特論	1・2		2		○								
	生殖・発達・再生医学特論	1・2		2		○								
	臨床生殖・発達・再生医学臨床研究・臨床試験特論演習	1・2・3		6			○							
	臨床生殖・発達・再生医学特論実験・実習Ⅰ	1・2		4				○	2	2	3			
	臨床生殖・発達・再生医学特論実験・実習Ⅱ	2・3		4				○						
	臨床生殖・発達・再生医学特論実験・実習Ⅲ	3・4		4				○						
	臨床生殖・発達・再生医学特論論文作成演習	3・4		4			○							
	小計（70 科目）	—		20			—		36	29	28			
合計（145 科目）		—	12	20			—		36	29	28			

学位又は称号	博士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

設　置　の　趣　旨　・　必　要　性

Ⅰ　設置の趣旨・必要性

(1) これまで本研究科では，医学に関する高度な研究の遂行を通して独創的な研究能力と豊かな人間性を備えた医学教育･研究者の育成を教育理念に，医学・医療における特定の専門分野について深い研究を行い得る研究者の養成を主たる目的としていた。

(2) しかし，２１世紀の医療系大学院では，これら研究者のみならず，医師としての高度な専門性を有する能力と共に研究マインドを持った臨床医も求められており，医療系大学院が果たすべき機能は多様化している。

(3) 中央教育審議会答申（平成１７年９月５日）では，専攻や分野の別を超えて，研究者養成と優れた研究能力等を備えた臨床医の養成，それぞれの目的に応じた教育課程を設けて，大学院学生に選択履修させることが適当であると提案している。

(4) 現在の医療の世界では臨床能力の高い人材だけではなく，臨床研究の推進，高度な診断・治療技術の開発能力などを有する臨床医の養成が求められ，従来の基礎研究重視の枠にのみにとらわれない，臨床医学研究履修コースの設定が必要である。

(5) このような状況と中央教育審議会答申を踏まえ，これまでの研究分野毎に設けた４専攻を医学専攻１専攻に集約し，先端的な研究を目指す研究者を養成する「研究者コース」に加えて，倫理観を有する専門性の高い診断・治療技術に裏打ちされた，優れた臨床研究・臨床試験推進能力を備えた臨床医の養成を目指す「臨床研究者コース」を新たに設け，専攻内の博士（医学）取得希望者の多様性と社会の要求に応えようとするものである。

Ⅱ　教育課程編成の考え方・特色

(1) 本教育課程編成の基本的考え方は，医学専攻の中に，研究者コースと臨床研究者コースを設け，共通の医学研究倫理，方法論に関する基礎知識を持った上で，多様性のある医学研究に対する社会のニーズに応えようとするものである。

(2) コース間交流のためのカリキュラムとして，次のとおり科目を設定している。

① 両コースに共通な必修科目として，共通基盤医学特論，共通先端医学特論及び共通医学論文特論を設定

② 専門科目では，各領域において双方のコースから選択可能な特論講義を設定

③ 各領域における実験・実習では，コースの途中変更にも対応した３科目（実験・実習Ⅰ～Ⅲ）を設定

(3) 共通基盤医学特論では，研究倫理，研究方法概論，研究財産管理論，Medical Informatics などすべての研究者に必須の知識を，共通先端医学特論では，研究開発推進に必要な最新の医学知識を幅広く獲得させる。

(4) まず，研究者コースでは基礎医学基盤演習を履修させ，臨床研究者コースでは臨床医学基盤演習を履修させることで両コースの差別化を行う。

(5) 研究者コースは，基礎研究推進に必須な生命科学の基本的知識・技術を習得する基礎医学基盤演習と，各領域別の特論講義，特論演習，特論実験・実習，特論論文作成演習で構成し，先端的な基礎医学研究の遂行を到達目標とする。

(6) 臨床研究者コースは，臨床疫学・生物統計，臨床研究の倫理・方法論など臨床研究推進に必須である共通の臨床医学基盤演習と各臨床領域別の特論講義，臨床研究・臨床試験特論演習，特論実験・実習，特論論文作成演習で構成し，各領域別の臨床研究等の遂行を到達目標とする。

(7) なお，臨床研究者コースでの臨床研究・臨床試験特論演習では，臨床研究･臨床試験の立案・実行に関する演習を行うと共に，各領域専門医取得を視野に入れた診断･治療技術の習得に関する演習を行う。

卒　業　要　件　及　び　履　修　方　法

修了要件

(1) ４年以上在学し，３２単位以上修得すること

(2) 学位論文の審査及び最終試験に合格すること

履修方法

(1) 研究者コース

・共通科目（必修）１２単位

共通基盤医学特論２単位，共通先端医学特論６単位，共通医学論文特論２単位，基礎医学基盤演習２単位

・専門科目（選択）２０単位以上

特論講義２単位，特論演習２単位，特論実験・実習１２単位，特論論文作成演習４単位

(2) 臨床研究者コース

・共通科目（必修）１２単位

共通基盤医学特論２単位，共通先端医学特論６単位，共通医学論文特論２単位，臨床医学基盤演習２単位

・専門科目（選択）２０単位以上

特論講義２単位，特論実験・実習８単位，特論論文作成演習４単位，臨床研究・臨床試験特論演習６単位

授業期間等

１学年の学期区分	２　期
１学期の授業期間	15　週
１時限の授業時間	60　分

教　育　課　程　等　の　概　要

（大学院医学系研究科細胞・器官系専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習	専任教員等配置 教授	専任教員等配置 准教授	専任教員等配置 講師	専任教員等配置 助教	専任教員等配置 助手	備考
共通科目	最新医学特論	1･2･3･4	2			2								全教員が担当
	先端医学特論Ⅰ	1・2	2			2			36	29	28			
	先端医学特論Ⅱ	1・2	2			2								
	先端医学特論Ⅲ	1・2	2			2								
	小計（4科目）	—	8			—			36	29	28			
専門科目	（細胞生化学部門）													
	細胞機能調節特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	細胞機能調節特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	細胞機能調節特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	細胞機能調節特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	細胞生理化学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	細胞生理化学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	細胞生理化学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	細胞生理化学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	放射線病態学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	放射線病態学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	（形態学部門）													
	形態学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	形態学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	細胞組織学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	細胞組織学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	細胞組織学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	細胞組織学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	細胞組織学特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	分子形態学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	分子形態学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	（発生学部門）								11	7	9			
	発生遺伝学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	発生遺伝学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	生殖生理学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	生殖生理学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	発達生物学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	発達生物学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	（腫瘍学部門）													
	腫瘍病態学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	腫瘍病態学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅵ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅶ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅷ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅸ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅹ	1～4		11		1	2	8						
	臨床腫瘍学特論Ⅺ	1～4		11		1	2	8						
	小計（38科目）	—		22		—			11	7	9			
合計（42科目）		—	8	22		—			11	7	9			

学位又は称号	博士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

教　育　課　程　等　の　概　要

（大学院医学系研究科生体情報調節系専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実習	専任教員等配置 教授	専任教員等配置 准教授	専任教員等配置 講師	専任教員等配置 助教	専任教員等配置 助手	備考
共通科目	最新医学特論	1･2･3･4	2			2			36	29	28			全教員が担当
	先端医学特論Ⅰ	1・2	2			2								
	先端医学特論Ⅱ	1・2	2			2								
	先端医学特論Ⅲ	1・2	2			2								
	小計（4科目）	—	8			—			36	29	28			
専門科目	（情動科学部門）								21	18	17			
	精神医学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	精神医学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	精神医学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	精神医学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	心身医学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	心身医学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	（神経科学部門）													
	神経生理学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	神経生理学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	神経生理学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	神経生理学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	神経生理学特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅵ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅶ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅷ	1～4		11		1	2	8						
	病態神経生理学特論Ⅸ	1～4		11		1	2	8						
	運動学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	運動学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	（循環・呼吸動態学部門）													
	循環機能特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	循環機能特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	循環機能特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	循環機能特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	循環機能特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	循環機能特論Ⅵ	1～4		11		1	2	8						
	呼吸機能特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	呼吸機能特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	呼吸機能特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	呼吸機能特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	呼吸機能特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	（代謝・内分泌学部門）													
	消化器病態学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	消化器病態学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	消化器病態学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	消化器病態学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	消化器病態学特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	代謝・内分泌学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	代謝・内分泌学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	代謝・内分泌学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	代謝・内分泌学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	代謝・内分泌学特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	代謝・内分泌学特論Ⅵ	1～4		11		1	2	8						
	代謝・内分泌学特論Ⅶ	1～4		11		1	2	8						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
	代謝・内分泌学特論Ⅷ	1～4		11		1	2	8						
	代謝・内分泌学特論Ⅸ	1～4		11		1	2	8						
	(化学物質作用学部門)													
	化学物質作用学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	化学物質作用学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	化学物質作用学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	麻酔・蘇生学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	麻酔・蘇生学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	(病態情報処理・医用生体工学部門)													
	病態検査学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	病態検査学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	病態検査学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	生体情報処理特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	生体情報処理特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	生体情報処理特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	医用生体工学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	医用生体工学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	小計（60科目）	—		22		—			21	18	17			
合計（64科目）		—	8	22		—			21	18	17			

学位又は称号	博士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

教　育　課　程　等　の　概　要

（大学院医学系研究科生体防御機構系専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	最新医学特論	1・2・3・4	2			2			36	29	28			全教員が担当
	先端医学特論Ⅰ	1・2	2			2								
	先端医学特論Ⅱ	1・2	2			2								
	先端医学特論Ⅲ	1・2	2			2								
	小計（4科目）	—	8			—			36	29	28			
専門科目	（寄生生物学部門）													
	寄生生物学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8	3	3	1			
	寄生生物学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	寄生生物学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	寄生生物学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	分子生物学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	分子生物学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	感染症特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	感染症特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	（免疫学部門）													
	細胞免疫学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	細胞免疫学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	分子免疫学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	分子免疫学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	臨床免疫学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	臨床免疫学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	臨床免疫学特論Ⅲ	1～4		11		1	2	8						
	臨床免疫学特論Ⅳ	1～4		11		1	2	8						
	臨床免疫学特論Ⅴ	1～4		11		1	2	8						
	臨床免疫学特論Ⅵ	1～4		11		1	2	8						
	移植免疫学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	移植免疫学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	小計（20科目）	—		22		—			3	3	1			
合計（24科目）		—	8	22		—			3	3	1			

学位又は称号	博士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

教　育　課　程　等　の　概　要

（大学院医学系研究科人間生態系専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	最新医学特論	1·2·3·4	2			2			36	29	28			全教員が担当
	先端医学特論Ⅰ	1・2	2			2								
	先端医学特論Ⅱ	1・2	2			2								
	先端医学特論Ⅲ	1・2	2			2								
	小計（4科目）	—	8			—			36	29	28			
専門科目	（疫学部門）								1	1	1			
	予防医学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	予防医学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	人間生態学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	人間生態学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	（保健医学部門）													
	環境衛生学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	環境衛生学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	産業衛生学特論Ⅰ	1～4		11		1	2	8						
	産業衛生学特論Ⅱ	1～4		11		1	2	8						
	小計（8科目）	—		22		—			1	1	1			
合計（12科目）		—	8	22		—			1	1	1			

学位又は称号	博士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係